

地球おんだんかとカーボンハーフ 指導資料

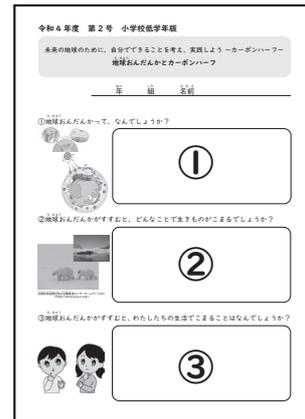
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

地球温暖化とカーボンハーフ指導資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～
地球おんだんかとカーボンハーフ

①表題



②ねらい

- ・地球温暖化について知り、環境への影響があることを理解する。
- ・東京都の温室効果ガス削減対策「カーボンハーフ」の取組手段の一つである水素エネルギーとその活用方法について知る。

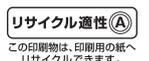
③本教材で扱う 主な内容

地球温暖化、カーボンハーフ、水素エネルギー、地球温暖化による生活への将来的な影響

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○掲示用教材①②の絵を見て、話し合う。	○絵から分かることについて、話し合う。	◆掲示用教材①② ◆ワークシート①
○掲示用教材①②を基に、地球温暖化について知る。	○地球温暖化について、説明する。	◆掲示用教材①② ◆ワークシート①
○掲示用教材③を見て、地球温暖化が生き物へどんな影響を与えているのか考える。	○写真を基に、氷や雪がなくなった場合に生き物はどうなるのか、住む場所や食べ物が無くなることについて考えさせる。 ○ホッキョクグマなどの絶滅の恐れがある生き物がいることを伝える。	◆掲示用教材③ ◆ワークシート②
○掲示用教材④を見て、地球温暖化が生き物へ与えている影響について理解する。	○他にどのような生き物に影響があるのかを考えさせてもよい。	◆掲示用教材④ ■「どうぶつがこまっている？」 【環境省】 
○掲示用教材⑤を見て、カーボンハーフの取組である水素エネルギーについて知る。	○水素エネルギーは使用時に温室効果ガスを出さないこと、水素エネルギーで走るバスが実際に都内を走行していることを伝える。	◆掲示用教材⑤
○掲示用教材⑥を見て、地球温暖化が進んだ将来について考える。	○地球温暖化が進んだ場合、自分の生活にどのような影響があるか考え、話し合う。 ○夏がさらに暑くなるとどうなるかなど、具体的に考えさせてもよい。	◆掲示用教材⑥ ◆ワークシート③ ■「TOKYO 環境学習ひろば 地球温暖化」 (東京都環境局) 

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料及び本推進資料のイラストや図表等を公開しています。



未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～

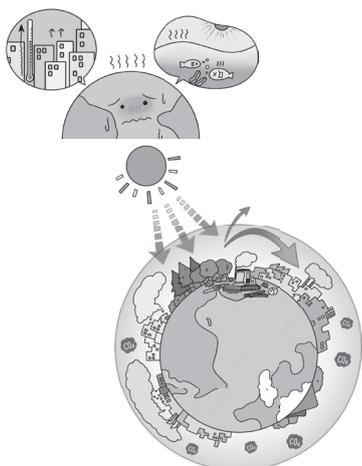
ちきゅう
地球おんだんかとカーボンハーフ

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

ちきゅう
①地球おんだんかって、なんででしょうか？



ちきゅう
②地球おんだんかがすすむと、どんなことで生きものがこまるでしょうか？



全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより
(<http://www.jccca.org/>)

ちきゅう
③地球おんだんかがすすむと、わたしたちの生活でこまることはなんででしょうか？

